平成26年度
第2回千葉市農業委員会総会

議 事 録

千葉市農業委員会

平成26年6月26日、千葉市農業委員会会長 野崎好知は、平成26年度第2回千葉市農業委員会総会を千葉中央コミュニティセンター6階 ホール に招集した。

<会議に付した議案等>

議事日程

日程第1 議事録署名人の選任について

日程第2 報告事項1 委員の異動について

日程第3 議案第1号 選任委員の所属部会等について

議案第2号 選任委員の運営委員会委員について

議案第3号 農業委員地区担当体制推進要領の改正について

議案第4号 農業委員会の適正な事務実施について

日程第4 報告事項2 平成26年度全国農業委員会会長大会について

日程第5 連絡事項1 農業者年金の加入推進について

<出席委員> (29人) ※ 番号は議席番号

1番	長谷川 政 美	3番	高 澤 義 信
4番	黒 宮 昇	5番	布 施 貴 良
6番	島 田 勝 雄	7番	高 橋 保
8番	松 戸 良 則	9番	石 橋 幹 男
10番	西 郡 高 夫	11番	花 島 豊 勇
12番	浅 尾 孝	13番	伊 原 茂 久 (農業振興部会長)
14番	野 崎 好 知 (会長)	16番	小 川 友 安
17番	野 本 信 正	18番	小 川 隆 良
19番	浅 川 常 彦	20番	山 中 一 三
21番	小 川 正 義	22番	宮 崎 一 雄
23番	竹 下 洋 一	24番	鈴 木 武 夫
25番	猪 野 幹 夫	27番	市 原 孝
28番	大 塚 久	29番	小 川 清 一
32番	石 橋 毅	33番	小 川 政 二
34番	藤 代 武 治 (会長職務代理者)		

<欠席委員> (5人)

2番	齊 藤 元 治	15番	田 中 和 夫
26番	長谷部 衡 平 (農地部会長)	30番	笠 川 泰 雄
31番	水 野 富士夫		

<事務局出席者>

事務局長	山 崎 哲 保	次 長	楠 原 弘
次長補佐	御 園 えみ子	農業振興係長	小 川 剛
農地審査係長	吉 田 浩 司	農地指導係長	角 田 一 郎
主査補	関 屋 徳 之		

(開会 午後2時)

議長

ただ今より、平成26年度第2回千葉市農業委員会総会を開会いたします。
お手元の会議日程に従いまして、進行させていただきます。本日の出席委員は、
34人中29人で総会は成立しております。
はじめに日程第1「議事録署名人の選任について」ですが、議席順となっておりますので、私より指名いたします。

議席番号 21番 小川 正義 委員

議席番号 22番 宮崎 一雄 委員

のご両名をお願いいたします。

続きまして、日程第2 報告事項1「委員の異動について」でございます。事務局報告願います。

事務局長

議案書の1ページをお願いいたします。

報告事項1 委員の異動についてでございます。

はじめに、委員の解任についてですが、議会推薦により、選任されておりました、
茂手木 直忠 委員、山浦 衛 委員、盛田 真弓 委員、酒井 伸二 委員 の
4名の委員は6月9日付けで解任された旨、千葉市長より通知がありました。

次に、委員の選任についてですが、新たに、議会より推薦されました、石橋 毅
委員、布施 貴良 委員、黒宮 昇 委員、野本 信正 委員 の4名の委員を6
月10日付けで選任した旨、千葉市長より通知がありましたので、ご報告いたしま
す。では、ご出席の委員をご紹介します。

はじめに、石橋 毅 委員でございます。

石橋委員

挨拶

事務局長	続きますして、布施 貴良 委員でございます。
布施委員	挨拶
事務局長	続きますして、黒宮 昇 委員でございます。
黒宮委員	挨拶
事務局長	続きますして、野本 信正 委員でございます。
野本委員	挨拶
事務局長	次に、選任委員の総会における議席ですが、新たに選任されました委員の議席番号は、総会会議規則第6条第1項の規定により、あらかじめ「くじ」により、決定しておりますので、番号順に申し上げます。 4番 黒宮 昇 委員、5番 布施 貴良 委員、17番 野本 信正 委員、 32番 石橋 毅 委員、以上でございます。
議長	お聞きのとおりでございます。本件は報告案件ということでございますので、ご了承いただきたいと存じます。 次に、日程第3 議案第1号「選任委員の所属部会等について」でございます。 事務局、説明願います。
事務局長	議案書の2ページをお願いいたします。

議案第1号 選任委員の所属部会等についてでございます。

農地部会・農業振興部会の割振りにつきましては、各部会2名となっており、議会推薦委員の互選会で決定しております。

また、議席につきましては、部会会議規則第8条第1項の規定により、あらかじめ「くじ」により決めさせていただいております。

分科会については、部会を開催して決定いただくところでございますが、会議の進行上、当総会において決定をお願いするものであります。

これにより、割振りにつきましては、

布施 貴良 委員は、農地部会の5番で第1分科会

黒宮 昇 委員は、農地部会の10番で第2分科会

石橋 毅 委員は、農業振興部会の5番で第1分科会

野本 信正 委員は、農業振興部会の6番で第2分科会

となっております。以上でございます。

議 長

お聞きのとおりでございます。

本件につきまして、ご意見・ご質問がございましたら、お願いします。

議 場

意見・質問なし

議 長

ご意見・ご質問がないようですので、議案第1号についてお諮りいたします。議案第1号を可決することにご異議ございませんか。

議 場

異議なし

議長

ご異議ございませんので、議案第1号は可決いたしました。

次に、議案第2号「選任委員の運営委員会委員について」でございます。事務局、説明願います。

事務局長

議案書4ページをお願いいたします。

議案第2号 選任委員の運営委員会委員についてでございます。

運営委員会の委員は、運営委員会運営要綱第2条第12号の規定により、議会推薦委員より2名となっております。

あらかじめ4人の委員にご協議いただきまして、農地部会より、布施 貴良 委員、農業振興部会より、石橋 毅 委員、の両名となりました。説明は以上でございます。

議長

お聞きのとおりでございます。

本件につきまして、ご意見・ご質問がございましたら、お願いします。

議長

意見・質問なし

議長

ご意見・ご質問がないようですので、議案第2号についてお諮りいたします。議案第2号を可決することにご異議ございませんか。

議長

異議なし

議長

ご異議ございませんので、議案第2号は可決いたしました。

次に、議案第3号「農業委員地区担当体制推進要領の改正について」でございます。

す。事務局、説明願います。

事務局長

議案書6ページをお願いいたします。

議案第3号 農業委員地区担当体制推進要領の改正についてです。

地区担当体制の推進は、農業委員会系統組織における取り組みでありまして、本市では、平成15年に要領を制定し、農地パトロール活動の実施、農地利用権設定の調整、認定農業者の掘り起こしなどを行っております。

このたび、選任委員の異動に伴い、担当地区を定めるもので、各委員の住所を基に割り当て、地区ごとの活動に取り組んでいただくもので、黒宮委員、布施委員、野本委員、石橋委員、全員が中央地区 をご担当いただきます。

なお、ただいまの地区担当体制推進要領は8ページ、9ページに、続いて10ページ、11ページは委員の地区担当表でございます。説明は以上でございます。

議長

お聞きのとおりでございます。

本件につきまして、ご意見・ご質問がございましたら、お願いします。

議長

意見・質問なし

議長

ご意見・ご質問がないようですので、議案第3号についてお諮りいたします。議案第3号を可決することにご異議ございませんか。

議長

異議なし

議長

ご異議ございませんので、議案第3号は可決いたしました。

次に、議案第4号「農業委員会の適正な事務実施について」でございます。事務局、説明願います。

事務局長

議案書12ページをお願いいたします。

議案第4号 農業委員会の適正な事務実施についてです。

この取組みは、農業委員会の事務の適正な実施を確保するため、22年度より実施しており、「25年度の目標及び活動の点検・評価」と「本年度の目標及び活動計画」の内容につきましては、本年4月の第1回総会において、ご決定いただいております。

資料につきましては、14ページから22ページに「25年度の目標及び達成に向けた活動の点検・評価」を掲載しております。また、「26年度の目標及び達成に向けた活動計画」は23ページから26ページにを掲載しております。

この「点検・評価」と「活動計画」の公表及び意見募集についてですが、本年5月9日から6月9日までの間、農業委員会のホームページで公表するとともに、JA千葉みらいのご協力で市内各支店の窓口に備え付けさせていただき、広く農業者等から意見を募集しましたが、ご意見等の提案は特にごさいませんでした。

従いまして、原案どおり「点検・評価及び活動計画」を決定したいと考えております。

なお、決定後は、千葉県及び関東農政局に報告するとともに、本市ホームページに公表いたします。説明は以上でございます。

議長

お聞きのとおりでございます。

本件につきまして、ご意見・ご質問がございましたら、願います。

議 場

意見・質問なし

議 長

ご意見・ご質問がないようですので、議案第4号についてお諮りいたします。議案第4号を可決することにご異議ございませんか。

議 場

異議なし

議 長

ご異議ございませんので、議案第4号は可決いたしました。

次に、日程第4 報告事項2「平成26年度全国農業委員会会長大会」でございます。事務局、説明願います。

事務局長

議案書27ページをお願いいたします。

報告事項2について、ご説明いたします。

全国農業会議所主催の平成26年度全国農業委員会会長大会が、去る5月27日、東京・日比谷において開催され、本市からは、野崎会長と私が出席しました。

この大会は、全国の農業委員会会長が一堂に会し、農業者や地域の実態を踏まえた、担い手・経営確立対策及び地域振興施策等の政策提案や農業委員会系統組織・活動の意思結集を図るため、毎年度開催されています。

行われました議事の概要につきまして説明いたします。

はじめに、28ページの第1号議案ですが、「農業・農村の再生に向けた農業委員会制度・組織改革に関する要請決議」でございます。要請内容として3点掲げており、1は、公選制のもとで開かれた農業委員会の強化、2は29ページ、許認可業務と農業振興業務との一体的な推進、3は30ページ、「ネットワーク」の強化による農業委員会の活動への支援、でございます。

次に、34ページの第2号議案は、「基本農政の確立に向けた政策提案」の決議としまして、政府に対し、35ページの1「新たな「食糧・農業・農村基本計画」の策定に向けた基本的考え方」から、47ページの10「農業団体のあり方の見直しへの対応」まで、10項目の具体的提案の実現を強く求めるものでございます。

次に、48ページの第3号議案は、「TPP交渉において国会決議の絶対遵守を求める要請決議」としまして、記載の3項目について強く要請するものでございます。

次に、49ページの第4号議案ですが、「「農地を活かし、担い手を応援する全国運動」の推進に関する申し合わせ」としまして、記載の3項目について一層の取り組み強化を図ることを決議したものでございます。

次に、51ページの第5号議案ですが、「「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ」としまして、記載の3項目についての取り組みを強力に進めることを決議したものでございます。

53ページですが、「第22回農業委員統一選挙に関する特別決議」でございませう。本年7月に予定されます農業委員統一選挙の実施にあたり、女性や青年農業者、認定農業者等、農業委員への人材登用について関係機関に働きかけを行うなど、農業委員会の取組みについての決議でございませう。

以上、各項目にわたりまして、それぞれ詳細が記載されておりますので、のちほど、ご覧いただきたいと思ひます。

最後に、55ページの第6号議案は、本大会の実行運動計画でございませう。大会終了後に各都道府県ごとに、地元選出国會議員、本県全体で29名、千葉地区は7名に対し、大会で決議した提案事項等について、各地区の会長等による要請活動を行いました。説明は、以上でございませう。

議長

ありがとうございました。ただいまの件につきましては、報告案件ということでございますので、ご了承いただきたいと思います。

野本委員

32ページに規制改革会議の意見についての反論等が掲載されています。この意見では、農業委員の選挙制度の廃止や建議の廃止等、農業委員会の役割を壊す様な内容になっており、全国の農業委員会が反対していくと思うのですが、千葉市の農業委員会は今までどの様な行動をしてきたのか、教えていただきたい。

事務局長

私からお答えいたします。野本委員のご質問は、農業改革という事で、新聞等で報道されております。そこでまず、全体の流れを説明させていただきます。規制改革会議による農業改革の意見の中で、農業委員の選任方法の見直し等、農業委員会制度の見直しが出ております。この規制改革に関する第2次答申を受けて、規制改革実施計画に農業改革を盛り込み、6月末までに閣議決定されると同時に、改訂予定である農林水産業・地域の活力創造プランにも明記される見通しと報道されております。

これらの意見に対する活動としましては、農業委員会系統組織である、全国農業会議所、都道府県農業会議、各市町村の農業委員会会長が、今回の全国大会に集まり議論し、選挙については公選制を維持すべき等の要請を、国会議員に対して行いました。

野本委員

分かりました。安倍内閣の成長戦略として、農林水産業・地域の活力創造プランと言いつつも、農業委員会の役割を壊したり、JA全中の廃止や農協の解体等の方向が出ている中で、真面目に農業を頑張っている方や、農業委員として努力している方の考え方と、全く違う方向に進もうとしている事に対して、農業委員会として

しっかり対応していく必要があると思います。

この様な時に、私も農業委員に選任されて、千葉市の農業委員会もこの意見に批判的な立場でおられるという事を確認しました。今後も、この方向でよろしく願いしたいと思います。

議 長

次に、日程第5 連絡事項1の「農業者年金の加入推進について」は、加入推進部長を務めております、私より話をさせていただきます。

農業者年金の加入推進につきまして、日頃より農業委員の皆さんには、ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、昨年度から、新たな農業者年金加入推進の「加入者累計13万人に向けた前期3カ年運動」が始まり、本市も取組みに努めて参りましたが、新規加入者の獲得に至っておりません。

新規加入者の掘り起こしには、農業委員、事務局、各関係機関が一丸となった取組みが必要なことから、本年度も農業者年金の加入目標の達成に向け、加入推進に取り組むこととなりました。

加入推進について、これまで以上のご協力をお願いしたいと思います。

また、取組みの一環として、加入推進のための農家戸別訪問を11月頃に実施する予定であります。本年は、緑区の20歳代から30歳代の対象者を訪問する予定でありますので、緑区を担当地区に持つ委員さんには、ご協力いただくこととなりますので、よろしく申し上げます。

なお、日程等について、9月を目途に事務局よりご連絡いたします。

以上ですが、本件につきまして何かございますでしょうか。

野本委員

農業者年金は、農業者にとって大事な年金だと思いますが、現在の千葉市の加入

者状況を教えて下さい。

次 長 平成25年12月末で、被保険者が19人、年金受給者が253人でございます。

野本委員 今、人数を聞きまして、大変苦戦しているようですが、この農業者年金は国民年金を受け取っている場合は、どうなるのですか。

農業振興
係長 農業者年金の受給資格は、国民年金の第1号保険者であることが要件になりますので、合わせて受け取ることになります。

野本委員 合わせて受け取れる割には、加入者が少ないようですが、制度上の欠点みたいなものがあるのでしょうか。

農業振興
係長 先ほど会長からの説明もありましたが、11月に戸別訪問をしていますが、その時に保険料が高いというご意見は伺います。

野本委員 保険料はいくらですか。

農業振興
係長 1か月に最低2万円になります。国民年金の保険料にこの2万円を加えますので、若干高いという認識を持たれているようです。

野本委員 高いというのは、千葉市だけではなく全国的な問題だと思うのですが、改善していく方向はないのですか。

農業振興
係長 農業者年金基金の理事の方が、去年、千葉市に視察に来られまして、その時に、
今の話を伝えておりますので、今後は色々な事を勘案していただけるものと考えて
おります。

野本委員 実情は分かりましたが、保険料が高いという事の改善が進まないと加入者は増え
ないと思われるので、千葉市だけではないと思いますが、検討が必要だと思えます。
以上です。

議 長 他にご意見、ご質問ございますか。

議 場 意見・質問なし

議 長 それでは、本日の議事日程は、以上でございます。
皆様のご協力により、全ての日程の審議を終了することができました。心より感
謝申し上げます。

これをもちまして、平成26年度第2回農業委員会総会を閉会といたします。

(閉会 午後3時)